

令和元年度 松江市の財務諸表(一般会計等)

**貸借対照表** 住民サービスを提供するために保有している松江市の土地、建物や現金等の財産(資産)と、その資産をどのような財源(負債・純資産)で賄ってきたかを対照表示したもの

借方(現在有する資産)	貸方(資産の調達財源)
<b>【資産の部】(将来の世代に残る財産の金額)</b>	<b>【負債の部】(将来の世代が負担する金額)</b>
1 有形固定資産 (道路、公園、学校、庁舎等) 3,183億21百万円	1 固定負債 (地方債や将来の職員の退職金等) 1,120億67百万円
2 無形固定資産 (ソフトウェア等) 99百万円	2 流動負債 (地方債翌年度償還額、賞与引当金等) 130億46百万円
3 投資等 (基金、貸付金、出資金等) 192億43百万円	<b>負債合計 1,251億13百万円</b>
4 流動資産 (現金預金、財政調整基金、市税未収金等) 83億94百万円	<b>【純資産の部】(これまでの世代が負担した金額)</b>
うち、現金預金 ① 23億96百万円	<b>純資産合計 2,209億44百万円 ②</b>
<b>資産合計 3,460億57百万円</b>	<b>負債・純資産合計 3,460億57百万円</b>

**資金収支計算書**

「一会計年度における資金の流れ」を行政活動区分別に示したもの

前年度末資金残高 16億85百万円
本年度資金収支額 17百万円
1 業務活動収支 (税込、補助金支出、職員給与等) 87億53百万円
2 投資活動収支 (公共資産整備支出、基金積立等) △64億77百万円
3 財務活動収支 (地方債の借入、地方債の償還) △22億59百万円
<b>本年度末資金残高A 17億02百万円</b>
前年度末歳計外現金残高 7億48百万円
本年度歳計外現金増減額 △54百万円
<b>本年度歳計外現金残高B 6億94百万円</b>
<b>本年度末現金預金残高(A+B) ① 23億96百万円</b>

**純資産変動計算書**

貸借対照表の「純資産の変動内容」を示したもの

前年度末純資産残高 2,200億88百万円
当期変動額 8億56百万円
純行政コスト(▲) △817億40百万円 ③
1 財源 (市税、地方交付税、国県補助金等) 822億22百万円
2 その他 (資産評価差額、無償所管換等) 3億74百万円
<b>期末純資産残高 ② 2,209億44百万円</b>

**行政コスト計算書**

1年間の「行政サービスのためのコスト」を示したもの

<b>【経常費用】A</b> 851億74百万円
1 業務費用 (人件費、物件費、その他の業務費用) 421億93百万円
2 移転費用 (補助金等、社会保険給付、他会計繰出等) 429億81百万円
<b>【経常収益】B</b> 45億42百万円
1 使用料及び手数料 25億91百万円
2 その他 19億51百万円
<b>純経常行政コストC(A-B) 806億32百万円</b>
1 臨時損失D 13億80百万円
2 臨時利益E 2億72百万円
<b>純行政コスト(C+D-E) ③ 817億40百万円</b>

**【4表の相互関係】**  
 ①「現金預金」が貸借対照表と資金収支計算書で一致  
 ②「期末純資産残高」が純資産変動計算書と貸借対照表で一致  
 ③「純行政コスト」が行政コスト計算書と純資産変動計算書で一致

松江市の財政分析

市民1人当たりの資産、負債、行政サービスの提供状況

(令和2年3月31日現在の住民基本台帳人口201,525人に基づき算出)

- 資産 171万7千円
- 負債 62万1千円

道路や公園などの社会資本の形成に対する世代間の負担率

- 将来の世代の負担率 34.29%

- 公共施設等の資産老朽化率 61.19%

基礎的財政収支(プライマリーバランス)は自らの財源で運営できているか

- 36億98百万円の黒字

基礎的財政収支(プライマリーバランス)に関する情報

業務活動収支	87億54百万円
支払利息支出	7億15百万円
投資活動収支	△64億77百万円
基金積立収支	7億6百万円
<b>基礎的財政収支</b>	<b>36億98百万円</b>

※一般会計等の内訳

【一般会計等】

- ・一般会計
- ・公園墓地事業特別会計
- ・母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計